

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 44)
平成 30 (2018) 年 12 月 1 日発行

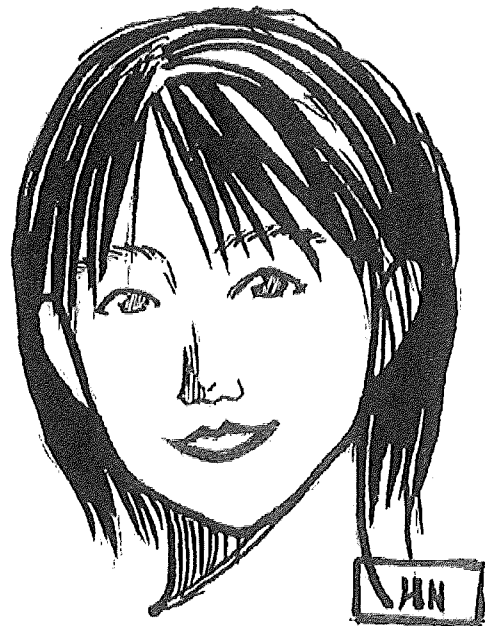
今月は、5 名の方からの投稿です。



同志社大学物語 — established 1875 — (vol.6)

やっぱり、国立の受験校を下げようかと思っていた。前期が終わり、頼みの社会と英語も、あまり伸びないまま、9 月を迎えることとなった。後期から入学した広大付属出身の K さんは、早稲田大一文に合格していたが、不本意で仮面浪人して、後期から河合塾の京大クラスに編入してきた。この頃、三浪の H 君とよく、切羽詰まった話をしたものだ。

(Y. Y.)



落語・相の手都々逸・ラーメン

○「ベートベンラーメンです」。

(特徴は?)

「うんめいんです」。

○「木村拓哉さんラーメンです」。

「面食いの女性に人気があります」。

(岡本祐子)

○精神科医の問診を検証する。

○何が気に入らないのか偉っそげに苦むさい顔をして患者の顔を見る。

○事理弁識能力欠如の常況にもある患者に対して要求しても意味がないのが、分からないのだろうか。

○精神医学書を丸暗記しているだけで理解しているとは到底思えない。

○しかも欠勤してまで学会に行き、人の英知を自分が考えたように誇らしげに、患者に喋らないで頂きたい。

○頭がいいのは分かるが、では学会で東大の総長の横に座れる医者が、この広島県にいるのか。

○馬鹿な患者に威張らずに強者に威張るのが偉い人間である。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、12月14日(金)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A-Z、H.A.